平成３１年２月２５日（月）

平田中だより　３月号

自主・自律・友愛

茨木市立平田中学校

平田中学校がめざす生徒像

コミュニケーション力を備え、健康で自律した生徒

今年度もあと少しです。

朝夕の寒さがまだまだ続きますが、日中の日差しにぬくもりを感じる日も多くなってきました。年末の冬休みには４時半頃だった日没が、最近では５時半を過ぎても明るく、春が近づいてきたことを実感できるようになりました。３年生の多くは、公立高校特別選抜試験や私立高校の受験が終わり、３月１１日の公立高校一般選抜試験に向けて頑張っています。進路開拓に向けてこの１年間、決して楽ではない生活を過ごしてきたことでしょう。いろいろなことを我慢し、悩み、迷う中で努力を重ねてきたと思います。進路の決定は人生の大きな関門のひとつと言ってもいいでしょう。それを乗り越えることで、心身ともに大きく成長し、たくましくなるのです。もちろん、過去の先輩たちもみんな経験し、このハードルを乗り越えてきました。第１希望の進路先に希望どおり進む人もいればそうでない人もいます。しかし、決まった進路先で最善を尽くすことが大切です。今回の進路決定がゴールではありません。大切なのは、今後をどう過ごすかです。それぞれの進路先で新たな目標を持ち、充実した生活を送ることを願っています。

心の壺



“心の壺”　という言葉を聞いたことがありますか？　例えば、笑いのツボとかマッサージのツボ、他にも感動するツボ、このように日常でも“～のツボ”という言葉がたくさんありますね。聞くところによると、どうやら“ツボ”というのは、人間のからだに必要な栄養素や血液が流れる管の分岐点のことを指す医学用語が語源のようです。日本ではそれが、“ツボ(壺)”と表現されているらしいです。

その“ツボ(壺)”は、心の中にもあります。心の中に壺があることを頭でイメージしてみてください。どんな形をしていて、どんな色で、どんな大きさですか？そして、その壺の中に自分が入ってみて、探索してみたとしたら・・・、何があって、何が見えてくるでしょう？

人の“心の壺”は、そんなに広大ではありません。また、そんなに頑丈なものでもありません。人が持つ“心の壺”は、案外簡単に外からの衝撃によって傷がついたり、ヒビが入ったり、時にはほんの少しの衝撃で簡単に割れてしまうこともあるようです。あるいは、壺の中に溜まっているその人が大切にしているものが、あふれ出てしまうこともあるようです。

クラスメイト、部活仲間、家族など、周りの人の“心の壺”、大切にしてあげていますか？“心の壺”が傷ついたままでしんどい思いをせず、家族や学校の先生、友達、周囲の信頼できる人、にそのことを話してみましょう。

今のクラスで過ごすのも、あとすこしですね。それぞれの心のタイプを活用し、心のツボを大切にし、思い出深い今年度の締めくくりにしましょう。

平田中学校のホームページが多くの方にご覧いただいています。

（学校日記では日々の学校の様子をお届けしています。）　http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh12/htdocs/



茨木市立平田中学校

自主　主体的に自ら学ぶ
自律　自分の行動に責任を持つ
友愛　仲間とともによりよい生き方をめざす

